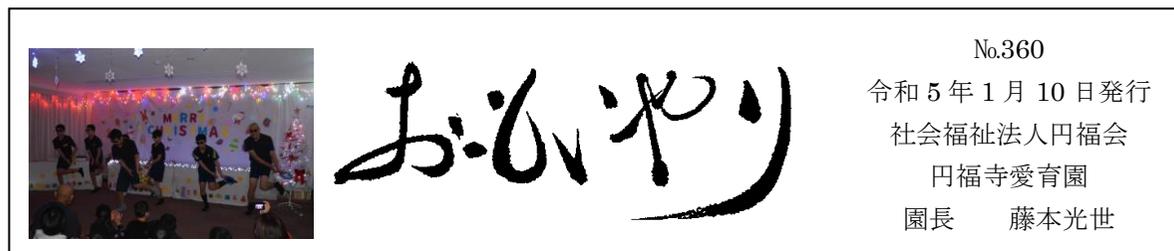


今年もクリスマス会を行いました。おいしいケーキも頂きました。



## 令和4年を振り返って

園長 藤本光世

### 行事のこと

今年は、新しい行事を二つ入れました。5月の善光寺ウォーキングと7月の臨海行事です。善光寺ウォーキングは、小学校1年生から高校生まで全員が約20キロを完歩しました。みんなで道中のゴミ拾いをしながら、「ウクライナに平和を」の幟旗を押し立てての行進でした。千曲川の堤防道路は、天気が良くて気持ちよく歩くことができました。善光寺は御開帳で参拝客が多かったです。小学校1年生の二人が頑張りました。新入職員は子どもたちとたくさんお話しできました。調理の先生、園務の先生には、お弁当を届けていただいたり、拾ったごみを回収してもらったり、愛育園全員が協力してのウォーキングになりました。

善光寺の御本尊さまも歩いて参拝した子どもたちの姿を見守り、喜んでくださったでしょう。社務所で買った回向柱は、お地藏様の前に安置して、お参りをする子どもたちを見守っています。

臨海行事は、善光寺ウォーキングからキャンプまでの間に何かできないだろうかと考えている中で生まれました。

臨海行事は事故が心配ですので、子どもたちが落ち着いていないとできません。子どもたちが職員を信頼し、円福寺愛育園を安全安心な住みかと感じていないとできません。今年の子どもの様子を見て、これならできそうだと思います。そして、コロナ禍で学校が臨時休校になった二か月間を円福寺愛育園学校として、午後には子どもたちを山や川や公園に連れ出して、魚やカニやニホントカゲを捕ってそれを図鑑で調べて飼い、模造紙で発表した子どもたちの姿を見て、あるいは休日に川へ行ってカニや魚を捕り、山へ行ってニホントカゲを捕って飼っている子どもたちを見て、これなら海へ行って生き物を捕まえて、園で飼うことを子どもたちはきっと喜んでくれるだろうと思いました。

子どもたちの楽しみと喜びは、予想をはるかに超えていました。天候に恵まれて約半日を過ごして、自由自在に海に潜る子どもたちはとっても生き生きしていました。女の子も、長時間の水泳で唇を震わせながら、潜って生き物を捕まえることを楽しんでいました。エビやウニやそしてたくさんのお魚は、エアーポンプで空気を入れたポリタンクを使い、海中の砂や海藻とともに

園に持参しました。大きな水槽をあおぞら用とまごころ用に二つ購入して、捕ってきたたくさんの魚を入れました。泳ぐ姿に歓声が上がりました。

あれから5か月がたちました。魚たちはどうなったでしょう。残念なことに、キャンプで留守にした1泊に、魚たちが死んでしまいました。全滅でした。かわいそうでした。でも、甲殻類(エビやカニ)やウニは生き残りました。ウニは最近になって死んでしまいましたが、エビ二匹と、大きなカニが今も生きて水槽の中を泳いでいます。あおぞらの水槽は、子どもたちが川魚を捕ってきて育て、それがもう3か月近く生きて泳いでいます。海の生き物と川の生き物の様子を毎日観察して参りをしています。

總持寺参籠参禅研修は、昨年の永平寺参籠に引き続いての行事になりました。三度の坐禅と緊張した生活と粗末な食事に、子どもたちは今年は嫌だということのかなあと思っていたら、富沢ホーム長から「今年は行かないの?」と子どもたちが言っていることを聞きました。子どもたちは、大本山での参禅参籠を楽しみにしているんだと思いました。すごい子どもたちです。それなら、大本山總持寺は連れて行ってやろうと思いました。

それは、思った以上の大成功となりました。子どもたちは坐禅に打ち込みました。一生懸命に座りました。總持寺さまのご配慮で衆寮の単で坐らせていただいたことは、本当にありがたいことでした。百間廊下の雑巾がけも得難い体験となり、子どもたちの積極的な取り組みがすごかったです。衆寮の石畳の雑巾がけは、単の下までもぐってやっていました。百間廊下の雑巾がけも往復やっている子どもたちがいました。すごいなあ。そして、總持寺さまのおもてなしの心に打たれました。本当にありがたかったです。

あれから1か月になりました。毎日のおまじりの声が大きく響いています。子どもたちは毎朝お参りの前に雑巾がけをしています。そして、とってもきれいな合掌をする子が現れました。この子はやんちゃな子です。両手の指をそろえて、指先が鼻と同じ高さで柱を抱えるような空間を作って、食事の前も、十方三世…も合掌します。きれいです。

總持寺さまでの体験が子どもの心に今も生きていてうれしいです。

これで、一年間の行事がつながりました。来年はそれぞれの行事で子どもたちが一層心を満たすようによろしく願いいたします。



## 令和5年に向けて

やっと、園全体が落ち着いてきました。子どもの養育の基本方針は変わりません。そして、その中で、職員一人一人のそして愛育園全体の養育力を高めたいと思います。そのためには愛育園が職員にとって安全安心のコミュニティにならなければなりません。そうなれば、職員同士が安心してたくさん対話ができ、心を開き、安心が高まり、とっても良い職場になるでしょう。職員の心の安心と安定こそ、子どもたちの良い養育につながると考えています。そのためにどうしたら良いか、職員とともに考え実践していきたいと思っています。

總持寺研修はその一つのヒントになりました。安心して働ける、安心して相談できる、安心して子どもたちとかわれる、そんな職場にしたいです。

皆さま、よろしくお願いいたします。

## 新年のご挨拶

あおぞらホーム長 富沢正樹

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

昨年は、子ども達が大きな成長を遂げた一年でありました。今年も更なる成長を目指してみんなで一生懸命頑張っていきたいと思っています。

私が感じた「大きな成長」とは「安心安全な環境を子ども達自身でも作り始めた」という事です。私たち職員は子ども達が安心感を得られる生活を送れるように、会話や遊び、そして行事を通して子ども達の心を満たす事に尽力します。私は、その事にどれだけ心血を注げるかが養育のカギだと思っていました。しかし、昨年の子どもの1年間をみると、子ども達同士での関わり合いの中から、自己理解や他者理解を深め、互いに安心できる相手になっている様子に感じました。職員から感じられる安心感も大事ですが、考えてみれば、24時間一緒に生活している子ども達同士が仲が良いという事ほど安心感を感じられるものは無いです。一昨年ほど前から、土日等の休日の度に小学生から高校生まですホームの子ども達を全員外に連れ出して、魚獲り、川遊び、鬼ごっこ、雪合戦、ソリスベリなど、あらゆる外遊びを行っているのですが、これらは、活発な外遊びを通して、心の奥の迷いや不安や想いを解放ができたなら自立という目標に前向きな気持ちで日々を過ごせるとして取り入れた事です。そういう狙いはありましたが、まさかその中で、子ども達同士が安心し合える相手になるなんて思いもよりませんでした。しかし、子どもの立場に立ってみれば、遊びの中で、あれだけ自分をさらけ出さず遊んでいる人を見たら普通に警戒心はなくなるし、そんな自分も気づけば思い切り自分を出してるし、それが「安心感」に繋がっていく事は当然の事だったのかもしれませんが。私は、この子ども達同士が自分をさらけ出して得られる「安心感」には、とても意味があると思っています。相手にさらけ出してもらえ「安心感」も自分をさらけ出しても理解してもらえ「安心感」も、単に居心地がよいという事もあ

りますし、これから社会に出て人間関係を作っていく上で「さらけ出す」という事をベースにできれば、自立に向けて子ども達にとって大きな前進になると思います。子ども達が勝手にそういう関係性を作り上げていく様子に、私はとっても勉強になりました。

そして、もう1つ大事な「安心感」があります。それは自信です。私たち職員が与えられる「安心感」と子ども達同士作り上げた関係性からの「安心感」の中で、子ども達は積極的に、自発的に、前向きに日々の生活を行ってきました。行事だけを見ても、「思い切り楽しもう」「いい発表にしよう」「人に喜んでもらおう」といったエネルギーがどの行事からも溢れて出てきました。一つ一つ達成したり成功したりして、だんだん自分に自信がついている様子が明らかにわかります。自分が頑張ったその自信が自分への「安心感」になっていて、やっぱり最後は自分自身なのだと思います。

当たり前ですが、自信はある日突然持てるものではないし、人から言われて持てるものでもありません。でも、こうやって子ども達が一つ一つの取り組みを大切にしていれば地続きに自信や自立へ繋がっていく事も子ども達に教わりました。

子ども達は自分達ではそんなに意識はしていませんが、そうやって自分達の力で状況を良くしていこうとする姿に私は大きな成長を感じました。

子ども達の将来には本当に夢があります。今年は、昨年子ども達から勉強させてもらった「安心感」を自分のテーマに置き、子ども達が更なる成長を遂げられるように、私ができる事を精一杯やっていきたいと思っています。子ども達も精一杯やってほしいです。

日頃からご支援、応援いただいている皆様、いつも本当にありがとうございます。今年も愛育園をよろしくお願いいたします。

## 新年のご挨拶

主任保育士 石崎早織

新年あけましておめでとうございます。昨年も多くの皆様に円福寺愛育園を支えていただきありがとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

さて2022年を振り返ってみると、さまざまな行事を通して子どもたちの心も体も成長した一年になったように感じます。5月は善光寺ウォーキング、7月は臨海学習、8月はキャンプ、9月は愛育園大運動会、10月は愛育園祭、11月は總持寺への修行の旅があり、その他にもホーム食等様々な行事がありました。行事を盛んに行うことで子どもたちの生活にもパワーが出てきたり、また行事を通して自分の役割や目標を決めている姿に成長を感じました。また日々の生活にも変化が見られ、学校生活を一生懸命頑張ることや、学習に力をも入れる子も増えたように感じています。そんな子どもたちのよい姿を今年も生活の中で出せるよう、職員が一丸となり頑張っていきたいと思っています。

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

そして今年は3名の児童が高校受験を控えています。自分で決めた志望校に合格できるよう毎日コツコツ学習を頑張っています。初めての受験にそれぞれ不安を持ちながら、それでも今できることを一生懸命頑張っています。受験まであとわずかですが最後まで頑張り切れるようみんなに応援していきたいと思います。

今年も子ども達が健康で元気に過ごせるよう支援していきます。本年もよろしくお願いいたします。

## 新年のご挨拶

調理主任 内山さくら

新年あけましておめでとうございます。

昨年も多くの方に、ご支援を頂きありがとうございました。たくさんの方に、旬の野菜や果物を頂き、その食材を食事に取り入れさせていただきました。子どもたちが元気にそして笑顔で、生活できることは地域の皆様や愛育園を応援して下さる方のお陰です。感謝申し上げます。

昨年の私の目標は「新メニューを取り入れる」でした。新メニューを通じて、新しい味や食材に触れてほしいと感じ、この目標にしました。新メニューを出し始めた頃の子どもたちの反応は、恐る恐る口に入れてみたり、友達が食べてみてから本人が食べるという感じでした。ですが、最近では、新しい味や食材に慣れてきたようで、恐怖心なく食べてくれています。これは食事を作っている私たちにとって、とても嬉しい子どもたちの成長だと感じました。今後もこの目標を続けていきたいと思います。

これからもホームの先生や調理の先生と連携を取りながら、子どもたちが喜ぶ食事作りに励んでいこうと思います。本年もよろしくお願いいたします。

## クリスマス会



まごころホーム 竹内早季

先日、園のクリスマス会が行われました。例年まごころホームは職員のみで出し物を考え、発表してきましたが、今年は職員の出し物に加えてまごころ中高生も一緒に「きよしこの夜」のアカペラ3部合唱を披露することになりました。みんなやる気にあふれており、練習も楽しく行うことができました。少ない人数で音程をとるのが難しかったですが、しっかり歌えたと思います。また、職員の発表では鍵盤ハーモニカの合奏をしました。今回私はピアノ伴奏を

することになり、ピアノは習ってきていない上に保育士試験以来全く触れてこなかったもので、練

(令和5年1月10日発行 月刊「円福」508号付録)

習はじめは不安で仕方なかったです。ただ、途中でピアノ経験のある高橋先生にも協力してもらい、2曲やる内の1曲を担当していただき、その分自分の担当した曲に専念でき、2週間毎日弾き続け、なんとか本番も弾ききることができました。なかなかこういった緊張感は味わえないですし、自分自身本気になって挑戦できた良い経験になりました。また、今回クリスマス会にあたって、たくさんの先生方や子どもたちが準備、出し物、片付けにいたるまで協力してくれたおかげで楽しいものになりました。これからも協力しながら良い行事を作っていけたら良いなと思いました。

## クリスマス会



あおぞらホーム 山田忍

12月17日、毎年恒例のクリスマス会がありました。今年もメインとなつての企画や進行は自分と竹内先生で取り組みました。毎年この時期になると何をしようかと頭を悩ませます、悩みに悩み今年は4年前に職員だけでやったタンバリンダンスを子どもたちと踊ることにしました。4年前には園にいなかった子もたく

さんいるので新鮮さもあるかな、と思いあおぞら中高生たちに声をかけるとみんな乗り気で積極的に練習して本番までに仕上げることができました。昨年のダンスは当日の午後ギリギリまでかかり、とても焦った記憶があったので今年は気持ちに余裕を持ちながら準備することができ、それも子供達の成長のおかげだと思っています。

司会進行では毎年展開に行き詰るとホーム長が合いの手を入れてくれて助けられていたので今年も密かにあてにしていた所、今年はホーム長が参加できないことになり緊張が倍増しました。そしていざ、本番が始まると竹内先生の助けもあり企画の一つ一つで盛り上がる事が出来、何とか無事にクリスマス会を終えることができました。

## クリスマス会

まごころホーム 中村彩乃

12月17日にクリスマス会を行いました。私は中高生の女の子達と一緒に歌の発表と職員全員で鍵盤ハーモニカの演奏を行いました。歌はなかなか子供たちと一緒に練習をすることができませんでしたが子ども達の練習の成果が存分に発揮され素晴らしい発表になりました。それぞれのグループの声素晴らしいハーモニーとなり、クリスマス会のスタートに相応しい歌でした。鍵

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

盤ハーモニカはミッキーマウスマーチとやってみようを演奏しました。鍵盤ハーモニカを演奏するのは小学校以来だったためとても久しぶりに吹くと難しかったです。それでも毎日一生懸命練習を行いました。なかなか演奏が合わなくて大変な時もありましたが演奏が合うととても嬉しく思いました。本番では緊張しましたがなんとか発表を終えることができました。その他の発表ではまごころホーム職員のマジック、あおぞらホームの男の子と職員のタンバリンのダンス、あおぞらホームの職員のマイネームイズチャレンジなどがありました。どの発表の素晴らしく子どもたちもたくさん笑って楽しんでいました。とても楽しく素晴らしいクリスマス会ができて本当に良かったです。



### クリスマス会 児童感想

12月17日にクリスマス会を行いました。クリスマス会では最初にきんに君が出ました。その後、まごころさんのきよしこの夜を聞きました。とてもうまかったです。次に先生たちのハーモニカでえんそうしました。その後、先生たちのマジックを見ましたすごかったです。その後、あおぞら中高生のタンバリンのえんそうを聞きました。その後、あおぞらの先生たちです。スプラトゥーンをみました。どれもとても楽しかったです。

(小3・Y君)



12月17日に、クリスマス会がありました。最初に、暗いのでイルミネーションの点灯をしました。とてもきれいでした。次にジングルベルの歌をみんなで歌いました。その後にゲストの筋肉があまりないきんに君が来てくれました。その後はまごころさんが、きよしこの夜の歌を歌って盛り上げてくれました。まごころの先生たちは、鍵盤ハーモニカでWANIMAの「やってみよう」と「ミッ

キーマウス」を弾いてくれました。とても上手でした。つぎにあおぞらの中高生がタンバリンダンスをしてくれました。サングラスをみんなかけて踊っていて面白かったです。次にまごころの先生たちがマジックを見せてくれました。最初は宮澤先生がペットボトルを使ったのと封筒をつ

(令和5年1月10日発行 月刊「円福」508号付録)

かったマジックを見せてくれました。次に遠藤先生がティッシュを使ったマジックを見せてくれました。最後に石崎先生がすごいマジックを見せてくれました。石崎先生が折りたたんでいた封筒から、石崎先生が好きなコーラがぺっちゃんこの封筒から出てきてすごかったです。もう一個は、いつも行事に持っていく麦茶を使ったマジックを見せてくれました。その麦茶に黄色い粉を入れました。どうせ黄色になるんだろうと思ったら、麦茶がとうめいの水になったのでびっくりしました。マジックの後はあおぞらの先生たちがスプラトゥーンみたいになって自己紹介のダンスをしてくれて面白かったです。チキとチャチャとボンボンとララがいました。最後は、アンコールでタンバリンダンスを中高生たちが見せてくれました。面白かったです。クリスマス会が終わった後は、食堂に行って NBS さんからもらったケーキを食べました。とても美味しかったです。

(小6・H君)

### クリスマスコンサート

まごころホーム 宮澤穂香

12月10日にクリスマスコンサートが行われました。今年は、チェロとハープの奏者さんが来園されました。子どもたちに、クラシックの名曲から、クリスマスソング、ディズニーソングやジブリのメドレー曲を演奏していただきました。みんなは、チェロやハープを間近で見たことがなかったようで、とても興味津々でした。また、チェロ、ハープの楽器についてたくさん教えてもらい、ハープは弦をはじくだけでなく、ペダルを使っているすごく難しい楽器であること、40kgほどの重さがあると知り、驚きました。



最後に、ハープを触らせてもらい、弾き方を習いました。子どもたちは、慎重に弾いていましたが、音が出たときは、とてもいい笑顔でした。貴重な経験をすることができました。遠いところに来てくださり、本当にありがとうございました。

### 總持寺修行の旅 児童感想 ※先月からの続き

26日に、總持寺に行きました。しょうじん料理は、のこさず食べれてよかったです。ざぜんは、楽しかったです。朝のおつとめは、おぼうさんが、おきょうを、読んでてすごかったです。百間ろう下は、長くてたいへんでした。すごく広かったのでびっくりしました。二日間ありがとうご

ざいました。

(小3・Y君)

11月26日、27日の二日間、總持寺で修行の体験をして、私は、修行の大変さを学びました。特に印象的だったのは、座禅と、雑巾がけです。座禅では、頭の中を空っぽにして、自分と向き合うのがすごく難しかったです。座り続けているうちに、どんどん集中ができなくなっていって、30分がとても長く感じました。でも、それを毎日こなしている修行僧さんたちは、本当にすごいと思いました。

雑巾がけでは、百間廊下の雑巾がけをやらせて頂きました。廊下はとても長く、雑巾をかけるのは、思った以上に大変でした。しかし、毎日しっかり雑巾をかけると、何年経っても床をピカ



ピカに保つことができるということを知り、普段から、掃除に真面目に取り組み、きれいにしていきたいと思ってきました。また、食事では、精進料理を食べさせてもらいました。私は、今まで、お坊さんたちも、私たちが食べたものと同じようなものを、食べていると思っていましたが、お坊さんたちの食事は、とても質素だと聞き、食事も修行の内だと分かって、厳しい世界だなと感じました。二日間、總持寺で修行の体験をして、とても、貴重な体験ができたと思います。二日間学んだことを活かして、これからもがんばっていききたいと思います。二日間ありがとうございました。

(中3・Uさん)

11月26日、27日に總持寺に修行の旅へ行かせてもらいました。私は、二日間の修行をして、心に残ったことが3つあります。

1つは、坐禅です。最初、配られたしおり読んで「30分坐禅を組むのか。」と思いました。けど、実際やってみると長過ぎではなく、自分の中では「なんか早いな。」と感じました。でも、心や頭の中を無心にすることができずにいました。「きょうさくをうけようかな。」と考え始めましたが、合掌をする勇気が出ず、夜と朝の坐禅が終わってしまい、毎日坐禅などを無心に行っている雲水さんたちはすごいし、大変そうだなと思いました。

2つ目は、朝課です。朝課は、日本一大きなお堂で行い、こんな広いところで、お坊さんや雲水さんが集まってお経を読むんだと驚きました。みんなそれぞれ、大きな声を出したり、何個もあるお経を全て覚え間違えずに唱えていてすごいなと感じました。もし私だったら覚えきれず間違いばかりだと思います。

3つ目は百間廊下の雑巾掛けです。百間廊下は、164mの距離があり、雲水さんたちは、この雑

巾掛けを毎日やっているのはすごいと思いました。実際に雑巾掛けをしてみると、最初は「この距離は楽だろう。」と思ってました。けど、いざやってみると半分もいかに息が上がってしまい、きつかったです。

この二日間の修行の旅を通して、色々なことを学ばせてもらい、色々な経験をさせていただきました。私は、この二日間のたくさんの経験を生かし、普段の生活や学校生活を頑張りたいと思っています。總持寺のみなさん、コロナ渦でしたが、私たちの修行のご指導をしていただきありがとうございました。まだまだコロナウイルスが流行しているので、お体に気をつけて日々をお過ごし下さい。本当にありがとうございました。

### あおぞらホームだより

あおぞらホーム 藤原京平

新年あけましておめでとうございます。今年も職員子どもみんなで、楽しい年になるように日々の生活を充実したものにしていきたいと思います。

愛育園では、12月17日にクリスマス会を行いました。あおぞらホームでは、中高生によるタンバリンを使ったダンスの発表を行いました。発表をした子どもたちは、事前の練習から積極的に参加する姿があり、発表で人を楽しませることができるよう頑張る姿はとても素晴らしいと思いました。そして本番では、発表をする側も見る側も一体となって楽しむ姿があり、良い雰囲気のクリスマス会となりました。

また、12月には懇談会がありました。2学期の成績表も出ており、子どもたちはそれぞれ2学期の反省や今後の目標を決めることができました。

そして2022年が終わり、新たに2023年が始まりました。この1月は新たな年の始まりとして良いスタートが切れるように子どもたちと頑張っていきたいと思います。

### まごころホームだより

まごころホーム 倉石朱莉

毎日寒い日が続いていますが、子どもたちは元気に過ごしています。先月はイルミネーション点灯式から始まり、クリスマス会、クリスマスと楽しみの多い一か月となりました。

小学生はサンタさんへの手紙を書き、クリスマスを楽しみにしている姿も見受けられました。「ラジコンお願いしたんだよ!」「俺はギーツのベルト!」など、嬉しそうに話してくれていま

た。



さてクリスマス当日ですが、それぞれのプレゼントを受け取った小学生は、とても嬉しそうにしていました。

受験生は受験本番に向け、面接練習や受験勉強により一層力を入れていく時期となります。私たち職員も子どもたちが希望の進路に行けるよう、より一層サポートに力を入れていきたいと思えます。

調理室だより

調理員 松本智草

一年が経つのは本当に早いですね。最近では炊いたご飯が足りなくなる程に朝晩とご飯を大盛にして食べる子供達の姿を見て凄いなあと感心させられます。

12月も沢山のイベントが有りました。

12月3日(土)クリスマスクッキー作り

4日(日)初代園長先生の御命日メニュー

5日(月)K君誕生日メニュー

チーズカレーうどん・鶏のから揚げ・春雨サラダ・抹茶チーズケーキ

10日(土)ホーム食、クリスマスコンサート

17日(土)大掃除、クリスマス会NB S様より頂いたクリスマスケーキ

24日(土)クリスマスメニュー

カレークリームドリア・ローストチキン・手羽先の甘辛煮・アボカドと

トマトのブルスケッタ風・じゃがいものポタージュ・フルーツ盛合せ

28日(水)園内餅つき

31日(土)大晦日

